

令和4年度事業計画書

〔 令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで 〕

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

本年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、以下のとおり各公益事業活動に積極的に取り組んでまいります。

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、以下の事業を行います。

(1) 博物館の企画行事

本年度における特別展、イベント等を以下のとおり計画しています。

ア 特別展の開催

(ア)「有楽町線車両の技術変遷展」(仮称)

6月上旬～9月上旬(予定)

有楽町線は、丸ノ内線の混雑緩和を図るとともに、都心と西北部及び東南部郊外地域を結ぶ路線として、さらに皇居周辺の発展に対応するために建設されました。

1974(昭和49)年10月に池袋～銀座一丁目間が開業され、その後部分開業を重ね、1988(昭和63)年6月に、和光市～新木場間全線が開業しました。

1972(昭和47)年の都市交通審議会答申第15号において西武池袋線と東武東上線と相互直通運転を行うこと、また小竹向原～池袋間は副都心線と同一ルートと方向付けられたことから、有楽町線で使用された7000系車両は、西武及び東武の車両と規格仕様を統一、のちに副都心線対応仕様に改造を行うなど、進化していきました。その後、現在東西線で活躍している07系、副都心線と共

用の10000系が投入され、2021（令和3）年には新型車両の17000系が登場し、順次7000系と置き換わっていきました。

この特別展では、有楽町線車両の装置や技術の変遷の歴史を取り上げると同時に、7000系から17000系に至る経緯などについて写真や実物展示、パネル等により紹介します。

（イ）「地下鉄のフシギ展」（仮称）

12月初旬～翌年3月中旬（予定）

過去の特別展のお客様アンケートには、地下鉄にまつわる様々な疑問や不思議に思うことなど多数の意見が寄せられました。その内容は車両や駅、そこで働く人々、歴史など、多岐にわたっています。

この特別展では、お客様から寄せられた様々な疑問からいくつかの内容を抜粋し、その答えを紹介することで、普段知る機会の少ない地下鉄の知識に触れていただき、より一層理解を深めていただくことを目的として、関連する実物資料展示やパネルにより紹介します。

イ イベントの実施

入館されたお客様に楽しんでいただけるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、各期間において以下のイベントを行います。

- （ア）春休み、ゴールデン・ウィーク行事（各種ゲームなど）
- （イ）夏休み行事（各種ゲーム、キャラクター撮影会など）
- （ウ）鉄道の日行事（1001号車車内公開、特別映画上映会など）
- （エ）冬休み行事（キャラクター撮影会など）

ウ 教育実習活動

博物館実習（学芸員資格取得のための実習）、グループ見学（中学校からの要請による学習）等の教育実習活動を受け入れます。

（2）地下鉄関連資料の収集、保管及び貸し出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、資料のデータベース化を進めます。

さらに、データベース化した貴重な資料を基にホームページに公開している「メトロアーカイブアルバム」の拡充に向け内容の更新等に努めるとともに、自治体や学校等から要請があった場合には、所蔵資料などの貸し出しも行います。

(3) 展示物の更新及び施設の改良等

本年度はファイルサーバの更新工事を行います。

(4) ホームページの有効活用

昨年度、コロナ禍において博物館を PR するあらたな試みとして、当館のホームページ上において館内の一部（銀座線 1001 号車車内等）を VR 映像にて公開しましたが、当該映像をさらに拡充すべく新たなコンテンツを追加製作します。

本年度も引き続き従来より使用している駅構内及び車両内のポスターをはじめとして、ホームページや T w i t t e r 等の SNS も有効に活用しながら、博物館の PR をしていきます。

2 交通文化事業

音楽会、文化展、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、以下の事業を実施します。

(1) メトロコンサートの開催

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数を減らして開催するとともに、代替施策を実施）

音楽文化の普及を図るため毎年度開催している「メトロコンサート」については、リアルとオンラインの相乗効果が得られるよう、駅構内での開催、無観客状況下における演奏を収録した動画のオンライン上での配信、小ホールにおける人数限定での開催を連動した形で、各々年 1 回開催します。

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくため、「メトロポリス・クラシックスコンサート」を年 1 回開催します。

(3) 音楽の贈りものコンサートの開催

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため回数を減らして開催）

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を都内及び近郊の高齢者福祉施設、病院等において、年3回開催します。

（４）メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、以下のとおり「メトロ文化展」を開催します。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナーに関する絵画作品を年1回募集し、特選、入選、佳作、奨励の各賞を計600点選考のうえ、「メトロ文化展 児童絵画の部」として駅構内に展示します。

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などで撮影する喜びを体験していただくため、参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を年2回開催し、その撮影作品の中から選考のうえ「メトロ文化展 写真の部」として駅構内に展示するとともに、当財団のホームページにおいて発表します。

ウ 文学の部（メトロ文学館・展示）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、詩の募集を年2回行い、優秀作品を選び、車両内ポスターに掲出します。

また、優秀作品及び入選作品を「メトロ文化展 文学の部」として駅構内に展示するとともに、当財団のホームページにおいて発表します。

（５）沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を、財団のホームページと「Echika 池袋ギャラリー」において年2回紹介します。

また、江戸の文化を今に伝える伝統工芸職人技の実演会を駅構内において年1回開催します。

（６）メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を年2回開催します。

(7) Echika 池袋ギャラリーの運営

芸術文化の振興に寄与し、また、駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に資するために池袋駅に設置した「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行います。

展示につきましては、地元豊島区と当財団が行います。

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行います。

現在「パブリックアート」は、副都心線西早稲田駅に2作品・北参道駅に1作品、有楽町線豊洲駅に1作品、銀座線上野駅・末広町駅・青山一丁目駅に各1作品、合計6駅7作品を設置しています。

また日比谷線銀座駅コンコースに設置した「メトロ銀座ギャラリー」の展示管理を行います。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、以下の事業を実施します。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月、駅構内及び車両内に掲出します。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を制作し、主要駅及び地下鉄博物館において配布します。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、施設見学及びセミナー等を行う鉄道教室を年1回開催します。

(4) 啓蒙用グッズ類の配布

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布します。

以 上